

事業概要シート

施策 1702 新幹線を活かしたまちづくり

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	アクションプラン事業	拡充	予算額	15,812 千円
			《 1,000 》千円	
事業期間	R1年度 ~ R4年度	財 源 内 訳	国庫支出金	902 千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	14,910 千円
根拠法令 要綱等				

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

- 九州新幹線西九州ルートの開業効果を最大限とするため、アクションプランの実施に取り組む。

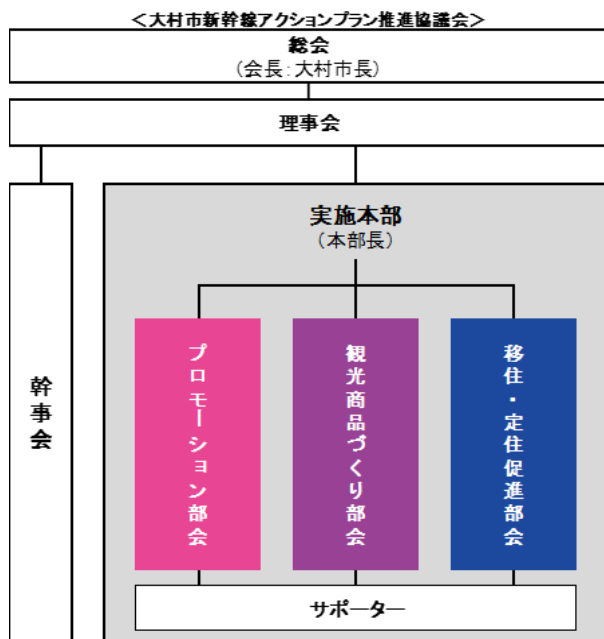
【概要】

- 広報・啓発活動（広報おおむら、大村市ホームページ、公共施設の活用）
- 開業効果を高め広く波及させるために3月に新幹線開業アクションプランを策定した。
- 令和4年度の新幹線開業に向け、大村市新幹線アクションプラン推進協議会を中心に、大村市全体で新幹線開業アクションプランに取り組む。
- 今年度は機運醸成を図るため、新幹線開業に関するイベントを実施する。

【対象】

- 市民、企業、新幹線利用者など

新幹線開業アクションプラン実施体制



新幹線アクションプラン推進協議会 役員 (17)

会長	大村市
副会長	大村市議会
副会長	大村商工会議所
理事	長崎空港ビルディング(株)
理事	(公社)大村青年会議所
理事	大村商工会議所青年部
理事	長崎県中央農業協同組合
理事	(一社)長崎県建設業組合大村支部
理事	(一社)長崎県バス協会
理事	大村市タクシー協会
理事	(一社)大村市観光コンベンション協会
理事	(一社)大村市物産振興協会
理事	大村市経営者研究会
理事	長崎県中小企業家同友会大村支部
監事	(株)親和銀行
監事	(株)十八銀行
本部長	大村商工会議所副会頭 時 忠之

【背景】

開業を3年後に控え、交流人口の拡大による地域の活性化をはじめとする開業効果を最大限に活かすために官民一体となった取り組みが必要であり、これまでに新幹線が開業した自治体の多くでも開業効果を高める官民連携の取り組みを実施している。

担当課	都市整備部新幹線まちづくり課	課長	森 幸則
担当者	有川 大輔	問合せ先	0957-53-4111(内線601)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	アクションプラン取組事業実施数	計画値 件	0	31	32	36	36
②		計画値 回					

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	アクションプラン取組事業実施数	計画値 件	0	31	32	36	36
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	1,000	15,812	60,000	30,000	106,812
国庫支出金			500	902	0	0	1,402
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			500	14,910	60,000	30,000	105,410
人件費		0	12,155	26,160	42,140	26,160	106,616
職員(人)			1.60人	3.20人	5.00人	3.20人	13.00人
時間外勤務(h)			260h	520h	1040h	520h	2340h
嘱託員(人)			0.00人	1.00人	2.00人	1.00人	4.00人
フルコスト	0	0	13,155	41,972	102,140	56,160	213,428

妥当性 (市の関与)	開業に対する活動は、大村市新幹線アクションプラン推進協議会を中心に市民一丸となつて、全市を挙げて取り組むべき事業であるため、大村市の積極的な関与は必要不可欠。
有効性 (施策貢献度)	新幹線という新たな高速交通体系により、西九州地域と中四国・関西方面との交流人口が拡大し地域の活性化が期待される。 また、開業に向けた活動を行うことで、開業効果を最大限とし、広く波及させることができる。
効率性 (コスト)	開業に向け、プロモーション、や商品観光づくりを行うことは、必要不可欠であり、事業費を削減できる余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり